

学校名	奈川中学校	
ホームページURL	user.cnet.ne.jp/n/nagawa	生徒数 38名
(1) テーマ 「DISCOVER奈川」～地域を知ろう～ テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 全学年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・中学校を卒業すると、村を離れなければならない生徒が多だけに、自分が生まれ育った奈川村をより詳しく知ることにより、村を愛し、自分に誇りを持てるようにさせたいと考えた。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 学習の観点を「歴史」「生活・文化」「自然」の3領域に分け、その中で各自追究したいテーマを設定した後、同じテーマの者同士グループを作って学習を進めた(全部で9グループ)。その内、多くのグループが村内の調査活動を行い、6グループは外部講師の方にお世話になった。 「歴史」.....・神社調べ ・学校の歩み ・村の遺跡調べ 「生活・文化」...・奈川村の方言 ・食文化 ・昔からの遊び 「自然」.....・植物 ・動物 ・魚類 原則として週に1回2時間続きの時間を設定して実施した。 時数(22)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 職員全員(7名)が、いずれかのグループに入って共に学習を進めた。 外部講師として、村内の方4人に関わっていただいた。 校外での学習は地教委と連絡を取り合い、学校の公用車を利用して行った。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 職員は、教科との関連も踏まえ、それぞれ3つの観点に関わりのある者を配置した。 校外へ出る機会が多いので、安全に留意するとともに、場合によっては幾つかのグループが合同で学習を進めたりした。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 10月の文化祭で各グループとも学習の成果を発表する場を設けた。地域の方々にも見ていただき、好評であった。 各自に学習カードを持たせ、毎回自己評価をするとともに、全体を通して担当職員による評価も行っている。		
(8) 成果と課題 学級・学年の枠を取り払ってグループを作ったことにより、生徒は新鮮な気持ちで学習に向かい、奈川村について多くのことを学ぶ意義ある時間となった。 22時間は、まとまった活動をするには決して多い時間とはいえ、手際よく進めていく必要がある。来年度も継続して行う予定なので、活動内容を早めに設定するとともに、地域(村の方々)との交流も、さらに広げていきたい。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題